



ハイライトよねやま141

1 寄付金速報 — ご支援のお願い —

11月までの寄付金は前年同期と比べて4.5%減、約2,900万円減少の6億800万円となりました。普通寄付金が1.9%減、特別寄付金が5.9%減でした。米山月間の10月は寄付状況に回復傾向がみられたものの、11月は再び伸び悩み、直近10年間では単月・累計額とも、過去最低額となりました。12月は例年、特別寄付金が1年間で最も多く納入される月です。今年も残り半月近くとなりました。奨学事業を継続していくために、今後もお支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2 ガバナーエレクト・次期米山委員長の商品セミナーを開催

2012-13年度ガバナー（ガバナーエレクト）と次期地区米山記念奨学委員長を対象としたセミナーを12月1日・2日、都内で開催しました。1日目は、ガバナーエレクトと次期地区米山委員長の合同セミナーを開催。「今こそ、留学生支援！」をテーマに、講演や卓話、フォーラムを通じて情報の共有を図りました。2日目は、次期地区米山委員長セミナーとして、奨学事業への理解促進と寄付増進に向けたより具体的な取り組みについて、グループ別討議を行いました。師走の到来とともに、次年度の米山奨学事業もスタートを切りました。



1日目はエレクトと次期委員長による合同セミナー 渡辺好政元 RI 理事の講演 すばらしい卓話を披露したオランチゲさんと朴鍾祐さん(2680)



鈴木 PDG(2590)ほかフォーラムの講演者



懇親会では〇×クイズで米山を勉強？



見事優勝したのは2790地区の平野氏



実際に役立つと毎年好評の安増氏(2700)



2日目グループディスカッション。各地区の問題点を出し合い、情報や解決策を共有する場に。



3 被災地に住む現役奨学生は今……

東日本大震災から7ヶ月が経った10月、第2520地区(岩手・宮城) 第2530地区(福島) 第2820地区(茨城)に住む現役奨学生58人全員に対し、震災発生時の状況や現在の悩みについてアンケート調査を実施しました(回答数:46人)。被災地区に住む奨学生の声を紹介します。

◆震災後、ロータリーから学んだこと — ロータリアンの前向きな姿、奉仕の精神に学んだとの声多数 —

- ・ロータリアンばかりでなく、全国の国民が復興のため一緒に頑張る姿勢は、自分に大きな影響を与えました。今回の震災で、自分の研究を震災対策に関する研究にしました。これから、安全・安心なまちづくりを目指し、日本の震災復興に力を尽くしたい。(2820)
- ・例会で震災への支援や活動報告、また現地の報告などを聞いて、自分も実際にお手伝いをしたいと思いました。その後、3回ほどボランティアに行っただけの片付けやヘドロ掃除をしましたが、本当に被災者の方々は大変だと思いました。また機会があれば今でも行きたいと思います。(2520)
- ・なんで自分がこんな大変な時期に…とっていました。しかし、カウンセラーと話して考え方が変わりました。明日が来ないかもしれない「今」の大切さ、家族、友人の大切さを改めて感じました。(2530)

◆災害(地震・放射能)への不安 — やはり不安の種は放射能… —

- ・3才の子供がいるので放射線のことが心配です。戸外遊び禁止してないけど、前と比べると時間を短くしたりして、やっぱりちょっと不安です。(2820)

4 より活発な学友会活動を目指して — 韓国学友会総会 —

長らく活動が低調だった韓国米山学友会は2010年5月、体制を一新して再スタート。そして11月19日、新体制となって2回目の総会が、ソウルで開催されました。当日は約30人の学友が参加し、総会では各種報告に加え、新会員を増やすためのホームページの活用と、他の学友会



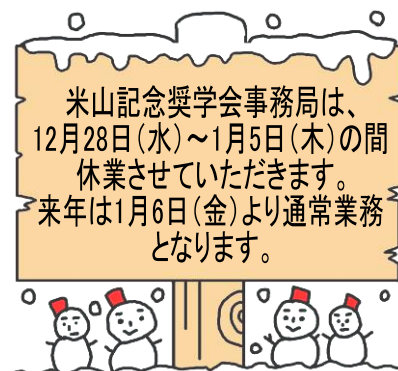
との交流を進める方針も決定しました。会員の多くが大学の教授、教員ということもあり、続く忘年会では、自己紹介とともに学友たちから多様な留学経験と研究内容が聞かれ、会場の随所で感嘆の声が上がりました。会長の柳京子さん(1981-83/北茨城RC)は、「来年はもっと活発な韓国学友会を目指して、いろいろな計画を立てています」と、今後の抱負を語りました。

税制上の優遇措置について

ロータリー米山記念奨学会へ寄付(特別寄付・普通寄付)をすると、**所得税の税制優遇**が受けられます(要確定申告)。年間2,000円以上の特別寄付をした方は、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月30日(金)入金分までが対象です。また、普通寄付分の申告用領収書は、申請のあったクラブのみ、特別寄付分に同封して送付します。

編集後記

今年も1年間お読みいただきありがとうございました。3月11日以降、日本中が衝撃を受けて混乱するなか、次々と届く学友からの支援やメッセージにどれほど励まされたことでしょう。改めてこの奨学事業の意義を実感しています。来年は被災地の皆さまにとって希望の光が見える年となりますように。



米山記念奨学会事務局は、
12月28日(水)~1月5日(木)の間
休業させていただきます。
来年は1月6日(金)より通常業務
となります。